

Kiis TOPICS



未 来の自分に「^{プラス}+1」～資格を取ろう！対策講座も無料で実施～



本学では、全学的に資格取得にも力をいれています。今回は、「特別講義（経営）サービス接客」（鈴木准教授）の中でも指導し、取得を推進しているサービス接客実務検定試験とITパスポート取得促進のための「iパスkiisコンテスト」について紹介いたします。ITパスポートは、経営情報学とも関連性が高いので、本学の学習成果に「ITパスポート合格と同等の専門的な知識・理解を修得している。」と掲げており、特に取得を推進しています。このコンテストの成績上位者には、表彰しており、積極的に参加を促しています。



昨年から、公益財団法人実務技能検定協会が主催する「サービス接客検定」の受験を積極的に勧めてきました。協会によると、『「サービス」とは「相手に満足を提供する」ということです。相手が快適であると感じるような世話とか、相手が感じがいいと思うような言葉遣いで接するという意味です。この相手に満足を提供する行動を「接客」といいます』と示しています。社会におけるさまざまなサービス業務に対する心構え、対人心理の理解、応対の技術、口のきき方、態度・振舞いなどが審査されます。サービスに対する考え方や行動の型などを習得しながら、世界でも注目されているおもてなしの心とかたちを育てることが目的です。



個別指導中の鈴木准教授

「サービス接客実務検定試験」受験のすすめ
「特別講義（経営）サービス接客」担当の鈴木准教授より

本学には、コンビニエンスストアなど、実際に接客に携わるアルバイトに従事している学生も多く、この検定試験に合格すれば、仕事中の接客にも自信が付き、また職場でも高い評価が得られるのではないかと思います。今回、留学生2名が3級に合格しました。この2名の学生も接客に関係するアルバイトをしていると聞いています。さらに、準1級に合格した学生もいます。今後、多くの学生がこの検定試験に関心を持ってもらい、さらなるスキルアップにつなげていただけたらと思います。現在「特別講義（経営）サービス接客」で指導中ですが、来年度は、「ビジネス実務」の科目で継続していく予定です。

合格者インタビュー

サービス接遇検定準1級合格

浜田玲音さん（経営情報学科3年）



Q:なぜこの資格を取ろうと思いましたか？

「ビジネス実務」の授業の中で担当の鈴木准教授が、サービス接遇検定の取得をすすめてくれたためです。また、実際内容を聞いてみて、就職活動、アルバイト、社会にでた際に役に立つとも思ったからです。

Q:どのように受験まで勉強に取り組みましたか？

とにかく過去問ですね。何度も見直して勉強を行いました。

Q:各級で試験の内容の違いがあれば教えてください。

2・3級は筆記試験、準1級は面接試験でした。2・3級に関しては、筆記試験の構成（全24問あり、そのうちの21問が選択式、残りの3問が記述式でした。）は同じで、内容の難易度が変化していました。準1級に関しては、面接試験となっており適切な話し方、動作、身だしなみ、言葉遣いができているかを評価されるものでした。また、審査員をお客様に見立てた販売の実演も行いました。

Q:この資格はどのような場面で活かされそうですか？そしてどのように活かしたいですか？

大学生の就職活動、アルバイト、社会に出た時、特にサービス関係の実践的な仕事などで活かされると思います。大学を卒業し社会に出たら、この資格で学んだことを活かしてサービス・接客に力を入れていきたいです。

Q:この資格を取ろうとしている学生の皆さんにアドバイスをください。

資格勉強の際に、モチベーションを保てず、挫折することもあると思います。実際、私もそのタイプの間人で、すぐにやる気をなくしてしまう性格です。また、勉強もあまり得意な方ではありません。しかし、そんな私でも鈴木先生のサポートもあり、最後まで諦めず勉強をして資格を取ることができました。皆さんもどうか資格の取得に頑張ってください。また、資格勉強が続かない・モチベーションが上がらない人は、資格取得後の自分をイメージするとモチベーションが上がるので是非やってみてください。



ITパスポート試験受験に向けた対策として「iPasskiisコンテスト」を半年に1回開催しています。毎回多くの学生が、自分の実力の腕試し、ITパスポート試験の模擬練習などの目的で全学年の学生が挑戦しています。ITパスポート試験は、2009年に創設された情報処理技術者試験で、経済産業省が認定する国家試験。社会人、職業人に必要となる情報技術に関する基礎的な知識を備えているかを測るもので、経営学の各種基礎理論も試験範囲に入っています。最近ではデジタルトランスフォーメーション（DX）が進む中、AI分野を中心としたデジタル技術の進化にも対応。主に生成AIの用語例やさまざまな留意事項、AIが学習する方法に関する用語例などが追加されています。まさに「経営情報」の幅広い基礎知識を得られる資格といえるでしょう。今年は、2月9日に学内で行いました。

合格者インタビュー

ITパスポート試験合格

垣永 渉さん（情報ネットワーク学科3年）



Q:なぜこの資格を取ろうと思いましたか？

IT系企業を希望するなら、持っているのが当たり前、就職活動で「他の希望者と同じ土俵に上がるための最低の資格」だと思います。また、この資格を取ると大学が単位認定してくれる点も大きな魅力でした。

Q:どのように受験まで勉強に取り組みましたか？

授業で使用しているテキストを勉強しました。授業内のテキストでも充分でしたが、スマホに入れる受験対策用のアプリを活用して、通学や授業の合間時間も勉強しました。スマホでの勉強はとても有効で効率的に勉強できました。

Q:この資格はどのような場面で活かされそうですか？そしてどのように活かしたいですか？

就職活動ではもちろんのこと、次のステップである基本情報技術者試験やその先の情報系資格の基本となる資格なので、取っておかないと先に進めないと思います。

Q:この資格を取ろうとしている学生の皆さんにアドバイスをください。

授業で習うことも多く出題されるので、在学中が取得しやすいと思います。先ほども言いましたが、スマホに入れる試験対策アプリを活用してください。アプリでしっかり勉強して、テキストを読んで、試験が近くなったらWeb上に模擬試験問題、過去問題も多く掲載されているので、集中的に勉強をして、試験にのぞみましょう。あと、試験会場の予約をお早めに（笑）試験会場の予約はすぐ埋まりますので。

合格者インタビュー（留学生も3級合格）

グルン サンジョクさん（経営情報学科2年）

スレスタ ガネシュさん（経営情報学科2年）



左から グルン サンジョクさん、スレスタ ガネシュさん

Q:なぜこの資格を取ろうと思いましたか？

アルバイト先でお客さんとのコミュニケーションをどうやっていると良いのかというところに興味があって、「良いサービスとはなにか」を勉強したかったからです。受験してみて、あらためて知ることが多かったです。

Q:この資格を取ろうとしている学生の皆さんにアドバイスをください。

日本の会社に就職したときや、学生時代にアルバイトをするときの接客に役に立つと思います。また、帰国しても勉強したことが活かされると思います。ぜひ、みなさん受験してください。私たちも次は2級に挑戦します。



イベント特集（情報大生 ♪楽しんでます♪）



学園祭、クリスマスパーティ、キャンパスフェスタ、日本文化体験講座、ソフトバレー大会

秋から冬にかけて、本学や太宰府市等主催で多くのイベントが開催され、本学の学生、教職員が参加しました。学園祭は、10月28日（土）、29日（日）の2日間で延べ約800名以上の方の来学者があり、2日目は模擬店で品物の売り切れが続出するなど大いに盛り上がりました。12月には、キャンパスフェスタ、クリスマスパーティ、2月には、太宰府市国際交流協会主催の日本文化体験講座、ソフトバレー大会に参加しました。



紫苑祭（学園祭）

10月28日（土）、29日（日）に紫苑祭（太宰府キャンパス学園祭）を開催しました。ステージでは、居合切り、相撲部演武、ダンス、カラオケ大会、コーラ早飲み対決など、館内ではeスポーツ同好会による格闘ゲーム、茶道部による呈茶、荒平准教授による「ひらめき★ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～」（別記事あり）など、グラウンドでは陸上部監督と部員たちによる小学生対象の「かけっこ教室」、そしてお馴染みの相撲部ちゃんこや甑島フェアなど19の模擬店が出店し無事終了しました。



クリスマスパーティ



12月13日（水）18時～2号館カフェテリアにおいて、国際交流センター、学友会主催のクリスマスパーティーを開催しました。留学生・一般学生・教職員100名以上が参加し、有意義な国際交流となりました。「各国郷土料理」の部では、留学生自身が食材購入と調理を行い、中国チームの「エビのチリソース」と「マポー茄子」、ベトナムチームの3種の生春巻き（エビ・牛肉・豚肉）、ネパールチームの「ネパールチキンカレー」、日本チームからは「ちゃんこ鍋」がふるまわれました。母国の懐かしい料理や初めての他国の料理を味わうことができ、参加者全員満足できたようです。



日本文化体験講座



2月3日（土）13時～16時 太宰府館におきまして、太宰府国際交流協会主催の「日本文化体験講座」が開催されました。内容は、太宰府の食を体験することを目的とした「梅ヶ枝餅づくり体験」と日本の伝統文化を学ぶことを目的とした「茶道体験」でした。本学からも中国、韓国、ネパールの留学生7名が参加しました。市民の方や地元の高校生も参加し、日本文化に触れることができとても楽しかったとのこと。手作りの梅ヶ枝餅は格別だったようです。



キャンパスフェスタ



太宰府市と教育委員会、太宰府市内5つの大学（本学も加盟校）・短期大学で構成する「太宰府キャンパスネットワーク会議」では、市民の生涯学習の振興と地域に開かれた魅力あるキャンパスシティの創造を目的として活動しています。その活動のひとつにキャンパスフェスタというイベントがあり、コロナ禍の影響で昨年までは縮小して開催していましたが、今年度は12月16日（土）にコロナ禍前同様に開催されました。本学のブースでは、e-スポーツ体験、ロボットを動かそう、写真部展示を行い、ステージでは、学友会による本学紹介とネパールの留学生によるダンスを披露しました。



ソフトバレー大会



2月7日（水）学友会の主催で、学生間の交流の推進と健康維持増進及び教職員と学生の交流を深めることを目的に、第1回ソフトバレー大会を実施しました。8チームが参加し、優勝賞品を狙って大いに盛り上がりました。参加した学生からは、チーム問わず多くの学生と交流を深めることができた、教職員とも気軽に話すことができ有意義な時間だったなど、第2回の開催を楽しみにする学生も多くいました。終了後は、相撲部が作るちゃんこ鍋ともち料理がふるまわれ“うまい”の歓声！ちゃんこを食べながら学生、教職員関係なく趣味や授業のことなど話に花が咲いていました。



相撲部活動報告

令和5年度の主な成績



第83回西日本選抜学生相撲大会
7月9日(日) 堺市大浜公園相撲場

団体：準優勝



第14回全日本女子相撲岐阜大会
7月16日(日) 岐阜メモリアルセンター相撲場

個人：重量級 優勝 1年生
イワナ・ベレゾフスカ
(ウクライナ出身)



第13回全日本大学選抜相撲金沢大会
7月16日(日) 石川県卯辰山相撲場

個人：第9位 4年生 豆田 恭成



本学出身 東龍現役引退(元幕内)



R5.11 月本学にて

本学出身で大相撲の元幕内東龍(36歳 本名サンドウイジャブ・トドビレグ モンゴル出身 平成22年度卒)が、15年間の力士生活にピリオドをうち現役を引退しました。2019年九州場所では十両優勝も果たしました。今後については、具体的には未定ようですが、日本を拠点にモンゴルと日本の架け橋になるようなことをしたいとのことでした。長い間お疲れ様でした。



H25 十両昇進時に本学から寄贈した化粧まわし

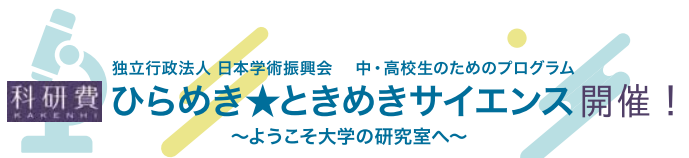


相撲部創部20周年記念式典開催



2月3日(土)に博多駅前の博多オリエンタルホテルにおいて、OB会主催の九州情報大学相撲部創部20周年記念式典が開催され、関係者約60名が出席しました。OBのみなさんは当時の話や当時のビデオで大いに盛り上がっていました。印象的だったのは、現役のころは食べ放題のお店へ出入り禁止になるなどみなさんとかく食べていたという印象でしたが、当日は料理がたくさん余っており、確かに現役のころより極端に痩せた方も多かったの、話を聞いてみると口々に「あんまり食べなくなった。」とのことでした。最後はみんなで記念撮影をしました。

がっていました。印象的だったのは、現役のころは食べ放題のお店へ出入り禁止になるなどみなさんとかく食べていたという印象でしたが、当日は料理がたくさん余っており、確かに現役のころより極端に痩せた方も多かったの、話を聞いてみると口々に「あんまり食べなくなった。」とのことでした。最後はみんなで記念撮影をしました。



「ひらめき★ときめきサイエンス」とは、大学や研究機関で研究者が「科研費」(KAKEN-HI)により行われている独創的・先駆的な最先端の研究について、小学校高学年～高校生が、直に見る、聞く、触れることで、科学の楽しさ、難しさ、不思議さ、おもしろさを感じてもらおうプログラムです。

研究者が科学の興味深さや面白さを講義、実験等を通じて分かりやすく語りかけ、また、研究者自身の歩み(研究を志した動機等)や人柄に直に触れることにより、参加者は、学問の素晴らしさや楽しさを体感することができ、科学的な好奇心を直に刺激して“ひらめき”、“ときめく”心の豊かさや知的創造性を育む内容となっています。本学では荒平准教授が「培養骨ってなあに?細胞とバイオマテリアルに触れてみよう」と題して令和5年8月18日、高校生を対象にひらめき★ときめきサイエンスを開催しました。



まず、「培養骨とは何か」について講義を受け、骨を作る細胞を顕微鏡で観察します。生体材料(足場材)についての講義を受けた後、実際に石膏から足場材を作製(自分の指を石膏で作製)しました。荒平ゼミの学生がサポートに入り、参加した高校生と1日体験を楽しみました。石膏を使った指作製が好評だったため、10月に実施された本学の学園祭「紫苑祭」では、小学生を対象にひらめき★ときめきサイエンスを実施。たくさんの小学生達が足場材づくりから自分の指、中には握りこぶし全体を作製するなど、わいわいととても楽しそうに作業を行っていました。

訃報について



本学初代学長で本法人の麻生維美学園長が、令和6年1月19日に満94歳で逝去されました。葬儀はご遺族の意向により近親者のみで執り行われ、関連学園である学校法人麻生学園により、2月26日ANAクラウンプラザホテル福岡において学園葬が執り行われました。



九州情報大学
公式 Instagram
https://www.instagram.com/kiis_insta_official/



九州情報大学
公式 Twitter
https://twitter.com/kiis_official

